

# サロンのあべの

Vol.103

CHRISTMAS MERRY CHRISTMAS MERRY CHRISTMAS MERRY CHRISTMAS

MERRY CHRISTMAS MERRY CHRISTMAS MERRY CHRISTMAS MERRY CHRISTMAS MERRY CHRISTMAS MERRY CHRISTMAS MERRY CHRISTMAS

## 『赤とんぼ』と過ごす、 ロマンチック・クリスマス

サロン・あべの12月の出会い

94年12月3日(土) 午後1時より、育徳会館3階幸分ホールにおいて、サロン・あべの12月の出会い「赤とんぼと過ごす、ロマンチック・クリスマス」を開催した。

タイトルのとおり、今回のメインゲストはフォークグループの『赤とんぼ』である。毎年のように出演交渉を続け、やっと今年実現したものである。

グループのリーダーである向井みち子さんが、体調を崩されたため、残念ながら、この日の出演はリーダー抜きの3人編成であった。ギターの毛穴正人さ

ん。風邪でのどを痛めながらも精一杯歌っていただいた、ボーカーの種村恵子さん。そして、キーボード演奏の中居澄子さん。アンコールも含めて7曲を披露していただいた。

### 1、愛言葉

### 2、約束の春

### 3、ともだち

### 4、Love Song

### 5、艶花火

### 6、サンタの

### ハッピープレゼント

### 7、里人ごよみ

元気の出る歌、恋の歌、楽しくなる歌など、どれも何となく懐かしい思いがする曲の数々。コンサートやいろいろなフェス

ティバルに、引っ張りだこという売れっ子ぶりも納得できる、すばらしい内容であった。

赤とんぼのミニコンサートに続いては、毎年お手伝いに来ていただいている、モルモン教の方々4人の出演である。

ギターの弾き語りやクリスマスソングの合唱などで、サロンのクリスマススムードをおおいに盛り上げていただいた。また、質問タイムでは、アメリカでのクリスマスの過ごし方なども、お話ししていただいた。

そして、旭さんと吉岡さんによる美々シスターズが登場し、ジャンケンゲームなどによる、プレゼント争奪戦が展開された。

その後、倭<sup>やまと</sup>さんに無理をお願いして、ハーモニカで4曲披露していただいた。

その曲の間にサンタクロースが登場。この日の参加者全員にプレゼントを配った。

最後は、全員で手話コーラスを合唱し、94年のサロンのクリスマスは幕を閉じた。

参加者45名。 (上平幸雄)



ともだちは 大事やで〜 赤とんぼオリジナルを唄う

# ロンドンチツク・クリスマス。

MERRY CHRISTMAS MERRY CHRISTMAS MERRY CHRISTMAS MERRY CHRISTMAS MERRY

クリスマス会に参加して

吉田 幾俊

歴史と伝統と、巻き寿司弁当つきのハサロン・あべのV主催のクリスマス会に初めて出席させていただいき、どうも、ありがとうございました。

当日の企画のメインであったフォークグループ「赤とんぼ」の演奏は、残念ながら、風邪をおしての熱唱で大変そうでしたが、なかなか個性溢れる素敵なお歌声でした。

最後にオリジナル曲の一つ「友だち」の歌?を参加者全員で歌い、和やかで温かい心のこもった手作りの催しの良さを感じられた思い出深い、ひとときを共に過ごせました。

した。

また、女性からの熱い視線を浴びていた米国からの美青年たちは好感が持て、色々興味深いお話も聴けて、ささやかな文化交流のようで微笑ましいものとなりました。

さらに、叙情を誘うハーモニカの演奏も楽しめて、お菓子を摘みつゝの歓談の後は、たくさんのファンシーグッズをめぐるジャンケン大会も、わくわくしました。

そして、いよいよ、軍手をはめた車椅子に乗ったサンタさんからのプレゼントで、大いに盛り上がり、あつという間に時間が過ぎてゆき、予定を延長しての散会となりました。

最後に当日のために色々準備、ご協力された方々、本当にご苦労さまでした。

気の早いことですが、今年のクリスマス会も、待ちきれましょえん。あ、新年会がありやしたね。 終

ありがとう クリスマス

木村 圭子

今年のクリスマス、とても楽しく嬉しい一日でした。

赤とんぼさんの歌も優しさいっぱい、このような出会い・ふれあいは、本当に言葉になりません。

久しぶりのなつかしいお顔、お元気な様子の皆さん、本当に本当にうれしいクリスマスです。外国の方とも少しお話が出来て、心の優しさ伝わる会話を楽しませていただきました。プレゼントもしつかり、たくさん、いただきありがとうございます。



赤とんぼの方々、とてもすてきです。頑張ってください。

今日は、ありがとう存じました。また、来年もよろしくお願い致します。

楽しいクリスマス

松田峰子

先日は、楽しいクリスマスの出会いに参加させていただき有難うございました。

サロンに入れていただいで、二度目のクリスマスです。

今年は「赤とんぼ」の皆さんの熱演で、

時間のたつのも忘れ楽しい三時間でした。

また、遠くのアメリカのユタ州より来られたモルモン教の宣教師の四人の青年たちに異国のクリスマスの様子を聞かせていただき、皆さんと一緒に聖歌を歌い、老いも忘れさせていただきました。

役員の皆さまの心づくしのお菓子や結構なプレゼントをいただき、有難うございました。取り急ぎ、乱文にて失礼ながらお礼まで。



クリスマスの感想

今日は多くの人と、いろいろな体験をさせていただきました。

運営された方々に厚くお礼を申し上げます。



メリー クリスマス

ちよつと早い クリスマス

暖かい日差しに、保育園の紅葉が映える。

「赤とんぼ」さんのぐともだちの歌々す

てきでした。

月ともだちは大事やで

ほんまに ほんまに 大事やで  
絶対なくしたら あかんのやで

ともだちは大事やで  
お前が泣きたい時は

お前の涙を拾ってくれる  
心の中が 心の中が 明るくなってくる

ともだちは大事やで  
ほんまに ほんまに 大事やで

絶対なくしたら あかんのやで  
ともだちは大事やで

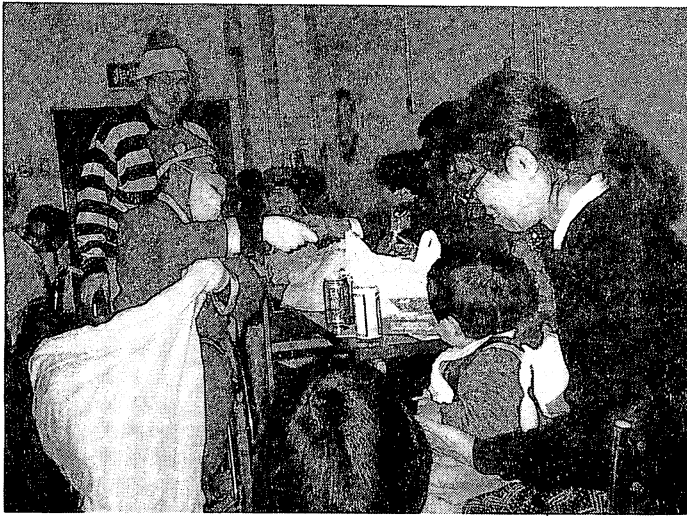
お前が苦しい時は  
お前の苦しみ背負ってくれる

心の中が 心の中が こんなに軽くなる  
ともだちは大事やで

ほんまに ほんまに 大事やで  
絶対なくしたら あかんのやで

ともだちは大事やで  
お前が嬉しい時は

お前の喜び感じてくれる  
心の中が 心の中が 喜びであふれる



山村サンタ・加賀谷トナカイからプレゼント

いろいろな人とともだちになりたいな。ともだちのともだちともともだちになつて、来年のクリスマスはもつと大きな輪で〃ともだちの歌〃をうたいたい。旭さんと吉岡さんの手話が、優しく舞う。英訳の歌詞もあればいいな。中国語は、中村さんにお願ひして…。歌いながらあれこれ楽しい想いを持ちました。

今日の出会いをありがとう！

サロンのクリスマスに参加して

終始、和やかな空気の中で、楽しいおしゃべりやゲーム、おまけにプレゼントも沢山いただき、楽しいひとときを過ごさせていただきました。

今回は風邪のため、満足な歌が歌えず申しわけありませんでした。にもかかわらず温かく、ご声援くださり本当に有難うございました。

また、いつの日か、ゆつくりと「赤とんぼ」の歌を聴いていただける機会がありましたら、万全を尽くしたいと思っています。これからも益々充実したサロンのご活躍をお祈りいたします。

フォーク・グループ「赤とんぼ」一同

今回は、参加できずにとっても残念でした。メンバーからの報告で、皆さんがとてもよくしてくださったこと、楽しかったことなどを聞き、感謝の気持ちで一杯です。

また、おみやげまでいただき、本当に有

難うございました。また、いつかお会いできる日を楽しみにしています。

フォーク・グループ「赤とんぼ」向井

♥「赤とんぼ」コンサートの案内

日時 平成七年一月二十九日(日)

開場：午後四時

開演：午後四時三〇分

場所 所 〓 O B P (大阪ビジネスパーク)

ツイン21 I M P ホール

会費 〓 前売り：三五〇〇円

当日：四〇〇〇円

出演者 〓 シヤンテ・赤とんぼ・

明日(あす)・桑名正博

これは便利。

贈り物をする時や、本や写真を送る時などにひと言添えたい場合、便利なのがこの一筆箋です。

大人気

サロンの一筆箋  
1冊100枚綴 150円



クリスマスと新年おめでとう  
あなたと、あなたのご家族と  
あなたのグループの方々へ

ブリギッテより

親愛なる慶子さんへ

お手紙と100号記念の新聞や、ハガキを  
送って下さってありがとうございました。

あなた方の新聞のページ数の多いのにびっくり  
しました。ごめんなさいね。日本語が読  
めなくて。けれどもあなた方のグループの方  
々がこの記念号のために一生懸命働かれたか  
ら立派な成功を納められたことがよくわかり  
ました。そして、これからも何の問題もなく  
あなた方の仕事が続けられることを望んでい  
ます。

私のいる新しい町ケーニッヒルッテルは今  
までのところでは、障害者のグループは見つ  
かりませんでした。たぶん、グループを作る  
にはこの町はあまりに小さいからでしょう。  
それに仕事の方が忙しくてグループのことを  
調べるのに時間がありません。

私が今住んでいる新しい町のイメージを知  
ってもらうために絵ハガキを2枚お送りしま  
す。

では、お幸せをお祈りしています。

ブリギッテ



Merry Christmas  
and a happy  
New Year

for you, your family  
and your group

from

Brigitte

Königslutter, 12.12.94

Dear Keiko,

Thank you very much for  
your last letter and the  
jubilée exemplar of your  
newspaper and the postcards.  
I am astonished how many  
pages your newspaper con-  
tains. I am sorry that I  
can't read Japanese  
writing. I see that your  
group have worked very  
much for this jubilee,  
but I see it was also a  
full success. I hope, you  
can continue your work  
in future without any  
problems.

In my new hometown  
"Königslutter" I haven't  
a group of handicapped people  
til this time. Perhaps  
this town is too little for  
an own group. Besides I  
have no time by my job  
to search for groups in the  
neighbouring towns.  
To give you an imagination  
of my new town, I send  
you two postcards.  
With best wishes

Brigitte



「百人一語」の出会い  
鈴木 真知子

先日、視力障害者の夫のために「百人一語」を読んできました。

皆様それぞれの思い入れがあり、ずいぶん読み応えがあります。

そして、その中に、懐かしい名前をみつ

★ あることを数えてみたら

自分が可哀想(かわいそう)になったら自分にあることを数える遊びをしたらいいよ。それは簡単なゲーム。あなたが、運よくもっているものを数えあげるだけでいい。

じゃあ、始めるよ。まず、ぼくには自分が好きな仕事がある。

あなたの番だよ。なんでもいいんだよ。「可愛い娘がいる」。ああ、そう

けました。もし、私の知っているあの方なら、以前勤めていた会社のお友達です。それとも、同姓同名の知らない方なのかもしれません。私は、まだ一度もお会いしたことがない富田様に、電話をかけて聞いてみました。その方の特徴などをお伺いして、間違いないと確信を得て、連絡先を教えてくださいいただきました。そんなわけで、何と十五年振りに、その方と再会することができました。

思ってもいなかった旧知の方との再会は、涙が出るほど嬉しく、懐かしい思いでいっぱいです。人は皆、どこかでつながっているのですね。お互いの近況や、会社の思い

だね。まだ写真しか見せてもらってないけど、可愛い赤ちゃんだね。

それから、ぼくには、自由な時間がある。わりあいぼくの仕事は、自由がきくんだよ。

つぎは、あなたの番。そう、順番に代わるがわる言っていくんだ。そういうゲームなんだ。「気のあう友達が近所にいる」。ああ、それは楽しいだろ

出話をたくさんしました。

私は、富田様にお会いしたこともなければ、まだ一度も△サロン・あべのVにお邪魔させていただいたこともないのです。

でも、△サロン・あべのVがあつたからこそ、「百人一語」があつたからこそ、このような楽しい時間を得ることができたのです。私は今、△サロン・あべのVがとて身近に思えるのです。

「百人一語」に感謝!

《追伸》次は、△サロン・あべのVにお邪魔させていただきまして、ぜひ皆様と楽しいひとときを過ごしたいと思えます。

皆様、どうぞよろしく願います。

うね。

ぼくには目標がある。今月末までにこれをするとか、来年までにあれをするとか、そういう目標がいつもある。

あなたには何? 「週末にカラオケにいく楽しみがある」。そうだね、笑うことはないよ、これだって幸せの一つだよね。

こうやって数えていけば、いろいろ



ある。あるんだよ、きっと。たくさんね。見えていないだけ。人間って無いものねだりだからね。いつも、自分に無いものばかりを数えている。それで自分は不幸だとか、みじめだとか、情けなくなってきた自分が可哀想になっってくる。

自分で自分が可哀想だと思うのは、たいいてい自分を他の人と比べてあまりにも不公平に大事にしているから。たとえば一百万落としたら、自分は不運だっと思うかもしれない。でもそれを火事で家が焼けてしまった人の前では不幸だとは言えない。

自分の心のなかに、できるだけいろんな生き方をしてる人を入れておくことが大切だよ。ささいな問題で悩んでしまった自分が不幸だと思いきんてしまったら、そのときは、もっとたいへんな問題で悩んでいる人のことを真剣には考えていない。

自分よりもっと不幸な人のことを考えて自分の幸せに気づくとか、そんなことを言っているんじゃない。腕をすこし擦りむいて血がにじんでいるときに、その傷が痛い痛いとしんどいしんどい走りまわっているうちに、大怪我をして床に寝ている人を踏んづけてしまっているんじゃないかと思う。

だれだって、自分を不幸だと思うときがある。人によって、何が不幸か、何が幸せかということも、違うということもわかる。でも自分の指先の切傷と、他の人の全身の大火傷(やけど)をいっしょにはいけけない。やっぱり、どんなに価値観とか人生観とか人がよって違っていても、絶対的な不幸というのはある。そして絶対的な不幸というのは、自分の小さな不幸の傷をいつまでも気にしている人たちが、もっと他の人のことを考えるようにな

れば、きっと解決されると思う。

あることを数えるゲームは、自分にあつて気がつかない幸せを数えあげるゲーム。でも、ほんとうは、自分の小さな不幸に気をとられてしまつて、他の人のもっと大きな不幸を見ようとせず、それに対して、できることをしないうままにしていることに気づくためのゲームなんです。(知)

岡さんのエッセイ集

「ほんのすこしの神に近い部分」

△サロン・あべのV紙で大へん好評の岡 知史さんのエッセイが一冊の本にまとめられ、大阪ボランティア協会から出版されました。

この「ほんの少しの神に近い部分」は「知らされない愛について」に続く二冊目です。

イラストは石田美禰子さんです。



頒 価 七〇〇円  
連 絡 富田慶子

(〇六・六九一・一〇二八)

# 高齢者と在宅介護

16

【いもと  
井元 ますみ  
真澄】

## 四、高齢者に対する広報活動

### 〔大阪府下における実態調査より〕(2)

厚生省が平成三年に全国五万二、〇〇〇世帯を対象に行った「健康・福祉関連サービス需要実態調査」をみると、次のような結果があります。「在宅医療・福祉関連サービスの利用を希望していながら利用していない(できない)理由」を複数回答でたずねると、「サービスを提供する公的機関・会社および利用方法等を知らない」に四三・四％、「住居の近くにサービスを提供する機関・会社等がない」に二二・三％の人が該当すると答えています。

また、大阪府が平成四年に六五歳以上の高齢者を対象に行った調査で、サービスの認知状況についての項目があり、「ホームヘルパーの派遣」を知っている者は四七・〇％、「老人福祉センターの利用」は四四・四％、「入浴サービス」三九・六％、「保健婦の訪

問指導」三六・九％、「給食サービス」は二二・五％、「ショートステイ」二一・四％、「デイサービス」二〇・三％、「日常生活用具の給付・貸与」一八・七％、などの結果です。いずれのサービスにおいても半数以上の人々がサービスを知らない結果となっており、サービスの利用者となりうる高齢者の認知状況としては、低い数字であるといえます。

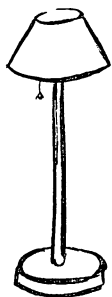
申請主義をとる現行の社会福祉制度においては、基本的には、住民側から相談や申請など、何らかのアプローチを機関にすることがサービス利用への第1歩となります。サービスが住民に適切に届くためには、住民側がサービスについての認識を高めることが1つの大きな要素と成り得ると考えられますが、現状では、それらへの取り組みの成果が表れているとはいえないです。老人保健福祉計画の策定における国の指針である「老人保健福祉計画について(平成四年六月三〇日・老計八六)」でも、「サービス利用を容易にする方策」の一つとして、「広報の充実」をあげて

います。

このような状況のもと、サービスと住民との間に位置する情報提供の具体的な方向性が問われることになるといえます。本研究では、高齢者や家族に対して、どのような情報提供が行われているのか、その方法に着目して、市町村の各機関における広報活動について調査を行い、今後の広報活動のあり方を検討することを目的とします。

## Ⅱ 研究の方法

平成四年七月から八月にかけて、諸機関の高齢者に対する情報提供の実態把握を目的とした調査を行いました。調査対象は、大阪府下各市町村の老人福祉担当部局、保健担当部局、市町村社会福祉協議会、保健所、の四機関としました。調査方法は郵送で、発送数一六九票、回収数一二五票で回収率七四・〇％、今回分析対象とした有効回答は一二二票で有効回答率七二・二％となっています。





作る つくる 創る 河合恵子

スクールジ

初春をいかがお過ごしでしょうか？  
寝正月を決め込もうとしたら、北の地では「地震はたとわが初夢を断てりけり」(西本一都)

地震、雷、火事、親父といえはわが国において、こわいものの代表。

ところで今から、百五十年近く前の小説に出てくるスクールジという人物が恐れ、おののいたのは三人のゴーストとの出会い。それは喉元過ぎれば熱さを忘れるといった一過性のこわさではなく、それまでの生き方すべてを変えざるを得ない。一八四三年、チャールズ・ディケンズの書いた「クリスマスキャロル」は周囲を顧みない欲張りな金貸しのスクールジがクリスマススイブの夜、三人の精霊によつて無理やり、自分の

過去・現在・未来と向き合うことを強いられ、翌朝は人々とクリスマスマスを祝う人物に変わるといった内容で世界各国で翻訳され、劇や映画・TV・アニメなど様々取り上げられているが、一月十三日から二十二日までミュージカル「スクールジ」が神戸で上演されていた。私はこれを昨年十二月、東京芸術劇場で観る機会を得たが、レスリー・ブリキユスの脚本、岩谷時子氏の訳詞、一八〇〇年代イギリスを意識したスイ・ウイルミントンの衣装デザインと妹尾河童氏の舞台装置、そして市村正親・中嶋朋子、榛名由梨、旺なつきをはじめとする俳優たちの熱演が一体となつて、とても楽しめた。

また、一九八八年、リチャード・ドナー監督の映画「三人のゴースト」ではSFXを駆使して製作され、ビル・マーレーが今のアメリカに時と場所を移して現代的なスクールジ役を演じた。ミュージカルでは最後に主人公が変心したことを聞かれて「何があつたつて。簡単なことさ・・・わしはわかっただよ。わしは好きさ、人生が」と答える。非情な精霊たちに出会うことなく、いつもこの言葉を口にするこ

が出来れば・・・と思う。



18

# 美智子のこんな話

岸田 美智子

約一〇〇人も

ヘルパー待機者があるなんて?!

ライフ・ネットワークで作ろうとしているグループホームの事で、住吉区役所の福祉事務所へ話し合いに行きました。

家捜しなどはまだこれからののですが、入居障害者の生活作りでいろいろ手伝ってもらいたいことが出てくると思うのです。

特に、二四時間の介護体制づくりにおいてホームヘルパー制度がどれだけ手伝ってもらえるのか、などについてこれから話し合っていくかなければならないと思っています。

現在のホームヘルパー制度では、平均的には週に二回、一回二時間か三時間というパターンが多いのですが、私たちは最高基準の週五日で朝八時から三時間くらいのパターンを要求していき、実現していきたいと思っています。実現していくためには住吉区のヘルパーの人数の配置の関係にも大きな影響が出てくるので、前もって話し合っていくかなければなりません。

話し合いの内容はこれからののですが、それにしてもいまヘルパー待ちが老人、障害者含めて住吉区だけで約一〇〇人いるという話を聞きました。私はこの数字にとてもびっくりしたし、ヘルパー申し込みの申請をしてから、実際にもらえるまでに約一年かかる現実にも怒りさえ感じました。申請をした障害者や老人は、今日明日にも来て欲しい生活の状況のなかから申請していると思うのです。例えば、食事作りやトイレ介護などもあるので、一年も待たされてる間に老人ホームや療護施設に入所しなければならなくなったり、最悪の場合亡くなられたりする方も出てくるのではないかと思います。

## お知らせ

サロン・あべの二月の出会い

日時 二月十八日(土) 午後一時〜四時

場所 育徳コミュニティセンター 研修室

(阿倍野区阪南町5-15-28)

スロープ、身障者用トイレ有り)

テーマ 「さをり織りと障害者」

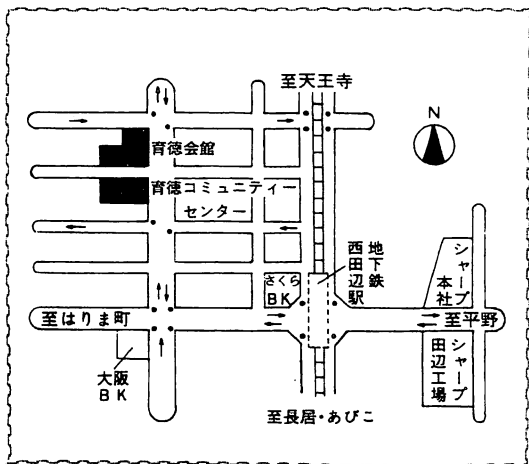
パネラー 城 みさを氏

(さをりひろば代表)

会費 なし

お申し込み・お問い合わせ先

☎〇六―六九二―一〇二八 (富田慶子)



私が聞いた大阪市内の他の区の状況では、申請して三日後に実際にヘルパーが来てくれたという話も聞いていますし、待機者が一〇〇人もいる区はないようです。なぜ住吉区だけこんなに待機者が多いのか、その原因を明らかにして至急に取り組んでほしいと思います。

その原因として考えられるのは、簡単に考えてもヘルパーの人数が足りないとか、

ニーズが住吉区だけ特に多いのか、障害者と老人のニーズを聞き、ヘルパーをうまく割り当てていく調査機能のコーディネートがうまく機能していないのではないのでしょうか。このような問題についても今後私たちの話合いの中でも聞いていきたいと思っています。私たちのグループホーム作りが地域の障害者のよりよい生活作りに影響を与えていけたらと思います。



絵本「未知の記憶」の

テープをありがとうございます

中川 雅子

前略、さっそくテープを送っていただきまして、ありがとうございます。ダビングして下さった方にも「ありがとうございます」

みんなで聞きました。

絵本は、私は見ていないのですが：

子供が言うには、大へんはげしい絵で

「グワッ、バァッ、ササーッ」

だそうです。エネルギーと夢のかたまりの

ような人なのでしょう。

早々

朗読テープのご案内

山本敏子さんのご協力で、ハサロン・あ

べのV紙一〇二号の録音テープが出来まし

た。バックナンバーは三九号から、一〇二

号の分があります。五〇号は、九〇分と六

〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二

〇分テープ二本にそれぞれ収録されていま

す。又、絵本「未知の記憶」(作・絵||中

川勝彦)の朗読テープもあります。

いずれもご希望の方には、ダビングをし

ますので、富田までお申し出下さい。

(☎〇六九一〇二八)

### 感謝します

カンパ、切手、クリスマスツリー、お菓子、テープ、平成七年度日めくり、冊子、バザー用品等のご寄贈。

一筆箋、絵葉書等、お買い上げありがとうございます。お礼を申し上げます。

赤とんぼ(フォークソンググループ)、池田カツ子、石田美禰子、

石原栄(大阪義肢装具センター)、

石橋幸子、今西美奈子、大里哲子、

大谷美津子、大塚一枝、岡 知史、

小川 啓、岡本憲俊、小野原俊介、

河合恵子、木村圭子、栗谷清子、

栗谷正美、神城昭子、生野正明、

数藤公子、中岡久美子、長島伊津子、

萩原弘巳、松田峰子、森 芳江、

山本篤江、山本敏子、倭 幸夫、

吉原和朗 (匿名六名)

〇十一、十二月のカンパ

金八六、五〇〇円

・ ・ ・ ・ ・

「おもしろい姉ちゃん」は、お休みします。



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」1月の出会い

日時・平成7年1月22日(日)

午後1時～

場所・東淀川会館4階(エレベータ有)

内容・「マッサージと盲導犬と私」

パネラー 日比野悦子氏

(淀川区塚本在住)

問い合わせ先・☎06-394-7030

(窪田新一)

■第4回「ウイズ東淀川」の出会い

日時・平成7年1月14日(土)

午後2時～4時30分

場所・東淀川会館3階

[エレベーター、車いすトイレ有]

内容・センス オブ Wonder

「ときめく感性 自然てなに？」

講師・ハーブ教室ハーバリスト若葉主宰

藤田昭子氏

会費・無料

問い合わせ先・☎06-340-3082

(鈴木昭二)

頭の下がる旅行記

山口 豊子

いつも何かとお世話になります。

一〇一号の田辺さんのアメリカ旅行の記事を興味深く拝見しました。短時間の間に

よく感じ取ってこられたものですね。頭が下がる思いで読ませていただきました。

皆さん、それなりに努力していらつしやることに、一層の努力をしなければと思いつつ筆を取りました。



新年

おめでとう

ございます

皆様には、佳き新年をお迎えになられたことと存じます。昨年は、多くの皆様方にご支援、ご協力を賜りましてありがとうございます。今年も皆様と多くの出会いを一緒に楽しみたいと希っています。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ハサロン・あべのV運営委員会

FROM EDITOR 編集後記

鈴木真知子さんのうれしい再会にびっくりしました。ヘーこんなことってあるんだ。百号の百人一語がきっかけとは、小説より奇なり、です。これももとはといえば、昨年「ウイズ東淀川」ができて、本紙が届けられるようになって、サロンの輪が広がったからかも知れません。「かるた」へのお便りはまとめて次の号に掲載を予定しております。(石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.103[95. 1.21 発行] 定価¥100.

代表；上平幸雄〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365

連絡先；富田慶子〒545 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028

表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子

印刷；セルフ社〒546 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F

TEL 06-719-8212 FAX 06-719-8213

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)